

Hirota Minoru

廣田

廣田商事 社長

KYUSHU
TOP
FILE

2014

「定量目標を重視し、不動産賃貸業上位を目指す」

MEMO

- 1963年10月15日生まれ
- 福岡県福岡市出身
- 福岡大法学部卒

廣田商事は2013年11月15日に50周年を迎えたが、そのちょうど1カ月前に廣田社長の人生もまた半世紀を迎えた。これを機に、今まで膝を悪くしてずっとご無沙汰だった、大好きなテニスを再開し、息子とテニススクールに通い特訓中だという。



2013年に会社創立50周年という大きな節目を迎えることができた。これもひとえにお客さまのご愛顧や、社員の尽力があったからこそだと思っている。この場をかりて深くお礼を申し上げたい。

振り返ってみると約10年前に策定した将来ビジョン「福岡のまちにとってかけがえのない企業」には多少近づけたとの手応えを感じている。当社はこれまで、定性目標(質的目標)を重点に置いて歩みを進めてきた。しかしこれからの10年は定量目標(数値目標)を重点に置き、それを達成することで企業価値を高めていく。

そこで「アタックフクオカTEN50(テン・フィフティ)」というスローガンを掲げた。これは10年後には売り上げ10億円を目指し、福岡の不動産賃貸業界トップ50に入る意を意味している。決して容易な目標ではないが、世の中の情勢を見て、適切な判断で土地や建物に当社独自の価値とサービスを提供していくことができれば、必ず目標は達成できる。福岡にとって必要不可欠な不動産会社としての地位を確立していくために今後もまい進していく。